

平成27年度 第2四半期(4月～9月累計)決算について

平成 27 年 11 月 5 日
九州旅客鉄道株式会社

1. 連結決算

(1) 経営成績

- ・ 営業収益は6期連続増収。全ての利益で増益。

(単位:億円)

	第2四半期累計期間(4月～9月)				記 事
	H26年度	H27年度	増 減	前年同期比	
営 業 収 益	1,742	1,889	146	108.4%	6期連続の増収(過去最高)
営 業 費 用	1,636	1,727	90	105.5%	
営 業 利 益	106	162	56	152.8%	3期連続の増益(過去最高)
営 業 外 損 益	62	83	20	133.0%	
経 常 利 益	169	246	76	145.5%	3期連続の増益(過去最高)
特 別 損 益	15	72	56	470.0%	
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	127	212	84	166.5%	3期連続の増益(過去最高)

※ 連結の範囲

連結子会社 36 社(対前年度末 ± 0 社)、持分法適用関連会社 1 社(対前年度末 ± 0 社)

① 営業収益 1,889 億円 (前年同期比 + 146 億円 / 108.4 %)

- ・ 当社の鉄道旅客運輸収入やマンション販売収入の増、J R おおいたシティの開業による不動産賃貸収入の増などにより増収。

② 営業費用 1,727 億円 (前年同期比 + 90 億円 / 105.5 %)

- ・ 当社のマンション販売原価の増などにより増加。

③ 営業利益 162 億円 (前年同期比 + 56 億円 / 152.8 %)

④ 営業外損益 83 億円 (前年同期比 + 20 億円 / 133.0 %)

- ・ 当社の経営安定基金運用収益の増などにより増加。

⑤ 経常利益 246 億円 (前年同期比 + 76 億円 / 145.5 %)

⑥ 特別損益 72 億円 (前年同期比 + 56 億円 / 470.0 %)

- ・ 当社の「九州旅客鉄道株式会社の経営安定基金の取崩しに関する省令」の公布に伴う、経営安定基金資産の売却により増加。

⑦ 親会社株主に帰属する
四 半 期 純 利 益 212 億円 (前年同期比 + 84 億円 / 166.5 %)

(2)セグメントの状況

(単位:億円)

		第2四半期累計期間(4月～9月)			
		H26年度	H27年度	増 減	前年同期比
運輸 サービス	売 上 高	855	887	32	103.7%
	営 業 利 益	△ 17	13	31	—
	経 常 利 益	45	97	51	213.2%
建設	売 上 高	288	288	△ 0	99.9%
	営 業 利 益	5	6	1	126.1%
	経 常 利 益	6	7	1	126.5%
駅ビル 不動産	売 上 高	293	376	83	128.5%
	営 業 利 益	105	119	13	112.5%
	経 常 利 益	105	118	13	112.4%
流通 外食	売 上 高	445	475	30	106.9%
	営 業 利 益	12	16	4	134.8%
	経 常 利 益	12	17	4	135.8%
その他	売 上 高	253	270	16	106.5%
	営 業 利 益	4	9	4	194.6%
	経 常 利 益	4	9	4	195.2%

(経常利益ベースでの比較)

① 運輸サービス 増 収 ・ 増 益

- ・ 売上高及び経常利益は、当社の鉄道旅客運輸収入の増などにより増収・増益。

② 建設 減 収 ・ 増 益

- ・ 売上高は、北陸新幹線関連工事の減などにより減収。経常利益は、原価率の改善などにより増益。

③ 駅ビル・不動産 増 収 ・ 増 益

- ・ 売上高及び経常利益は、当社のマンション販売収入の増やJ R おおいたシティ開業による不動産賃貸収入の増などにより増収・増益。

④ 流通・外食 増 収 ・ 増 益

- ・ 売上高及び経常利益は、ドラッグストアやコンビニエンスストアの売上高の増などにより増収・増益。

⑤ その他 増 収 ・ 増 益

- ・ 売上高及び経常利益は、ホテル売上高の増などにより増収・増益。

(3)財政状態

① 資産の部 11,594 億円 (前年度末比 + 184 億円 / 101.6 %)

- ・流動資産は、有価証券の増などにより224億円の増加。
- ・固定資産は、J R おおいたシティの開業などにより164億円の増加。
- ・経営安定基金資産は、経営安定基金資産の売却などにより204億円の減少。

② 負債の部 3,807 億円 (前年度末比 + 109 億円 / 103.0 %)

- ・流動負債は、買掛金の減などにより81億円の減少。
- ・固定負債は、長期借入金の増などにより191億円の増加。

③ 純資産の部 7,787 億円 (前年度末比 + 74 億円 / 101.0 %)

- ・純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益などにより74億円の増加。

(4)キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

	第2四半期累計期間(4月～9月)			増 減
	H26年度	H27年度	増 減	
営業キャッシュ・フロー(Ⅰ)	278	401	122	税金等調整前四半期純利益の増
投資キャッシュ・フロー(Ⅱ)	△ 372	△ 312	59	経営安定基金資産売却による収入の増
財務キャッシュ・フロー(Ⅲ)	46	218	171	長期借入による増
増 減 (Ⅰ + Ⅱ + Ⅲ)	△ 47	306	354	
期 首 残 高	153	122	△ 30	
期 末 残 高	106	428	322	

(5)平成27年度通期の連結業績予想

(単位:億円)

	H26年度 実績 (H26.4月～ H27.3月) A	H27年度 5月公表時 予想 (H27.4月～ H28.3月) B	H27年度 今回予想 (H27.4月～ H28.3月) C	増 減			
				対5月公表時予想		対前年度実績	
				金額 C-B	比率 C/B	金額 C-A	比率 C/A
営 業 収 益	3,574	3,672	3,729	57	101.6%	154	104.3%
(うち鉄道旅客運輸収入)	1,450	1,447	1,485	38	102.6%	34	102.4%
営 業 利 益	127	130	145	15	111.5%	17	113.4%
経 常 利 益	255	231	255	24	110.4%	△ 0	99.7%

※ 業績予想は、平成27年5月公表の数値から上方修正しております。なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、「旅客鉄道株式会社及び日本貨物鉄道株式会社に関する法律」の改正に伴う経営安定基金の取崩しに向け、経営安定基金資産の現金化による特別損益が発生すると予想しておりますが、法律の施行日が未定であることや金融市場の動向が見通せないことから合理的な算定が困難なため、記載しておりません。

2. 単体決算

(1) 経営成績

- ・ 営業収益は3期連続増収。全ての利益で増益。

(単位:億円)

	第2四半期累計期間(4月～9月)				記 事
	H26年度	H27年度	増 減	前年同期比	
営 業 収 益	1,010	1,104	93	109.3%	3期連続の増収(過去最高)
(うち 鉄道旅客運輸収入)	720	748	28	103.9%	(過去最高)
営 業 費 用	940	1,000	60	106.4%	
営 業 利 益	70	103	33	147.2%	3期連続の増益(過去最高)
営 業 外 損 益	77	99	21	127.3%	
経 常 利 益	148	202	54	136.7%	3期連続の増益(過去最高)
特 別 損 益	1	74	72	-%	
四半期純利益	103	191	87	184.9%	3期連続の増益(過去最高)

① 営業収益 1,104 億円 (前年同期比 + 93 億円 / 109.3 %)

- ・ 鉄道旅客運輸収入やマンション販売収入の増などにより増収。

② 営業費用 1,000 億円 (前年同期比 + 60 億円 / 106.4 %)

- ・ マンション販売原価の増などにより増加。

③ 営業利益 103 億円 (前年同期比 + 33 億円 / 147.2 %)

④ 営業外損益 99 億円 (前年同期比 + 21 億円 / 127.3 %)

- ・ 経営安定基金運用収益の増などにより増加。

⑤ 経常利益 202 億円 (前年同期比 + 54 億円 / 136.7 %)

⑥ 特別損益 74 億円 (前年同期比 + 72 億円 / - %)

- ・ 「九州旅客鉄道株式会社の経営安定基金の取崩しに関する省令」の公布に伴う、経営安定基金資産の売却により増加。

⑦ 四半期純利益 191 億円 (前年同期比 + 87 億円 / 184.9 %)

(2) 財政状態

① 資産の部 10,500 億円 (前年度末比 + 17 億円 / 100.2 %)

- ・ 流動資産は、有価証券の増などにより154億円の増加。
- ・ 固定資産は、J Rおおいのシティの開業などにより67億円の増加
- ・ 経営安定基金資産は、経営安定基金資産の売却などにより204億円の減少。

② 負債の部 3,045 億円 (前年度末比 △ 34 億円 / 98.9 %)

- ・ 流動負債は、未払金の減などにより179億円の減少。
- ・ 固定負債は、長期借入金の増などにより145億円の増加。

③ 純資産の部 7,455 億円 (前年度末比 + 52 億円 / 100.7 %)

- ・ 純資産は、四半期純利益などにより52億円の増加。

(3)平成27年度通期の単体業績予想

(単位:億円)

	H26年度 実績	H27年度 5月公表時 予想	H27年度 今回予想	増 減			
	〔 H26.4月～ H27.3月 〕 A	〔 H27.4月～ H28.3月 〕 B	〔 H27.4月～ H28.3月 〕 C	対5月公表時予想		対前年度実績	
				金額 C-B	比率 C/B	金額 C-A	比率 C/A
営 業 収 益	2,001	2,036	2,074	38	101.9%	72	103.6%
(うち 鉄道旅客運輸収入)	1,450	1,447	1,485	38	102.6%	34	102.4%
営 業 利 益	18	25	30	5	120.0%	11	162.0%
経 常 利 益	163	143	158	15	110.5%	△ 5	96.5%

※ 業績予想は、平成27年5月公表の数値から上方修正しております。なお、当期純利益については、「旅客鉄道株式会社及び日本貨物鉄道株式会社に関する法律」の改正に伴う経営安定基金の取崩しに向け、経営安定基金資産の現金化による特別損益が発生すると予想しておりますが、法律の施行日が未定であることや金融市場の動向が見通せないことから合理的な算定が困難なため、記載しておりません。

(4)鉄道旅客運輸収入及び輸送量の対前年比較

(単位：百万円、百万人キロ)

			第2四半期累計期間(4月～9月)			
			H26年度	H27年度	増 減	前年同期比
新幹線	定 期	収 入	1,317	1,350	32	102.4%
		人キロ	96	100	4	104.9%
	定期外	収 入	23,283	24,489	1,206	105.2%
		人キロ	829	866	37	104.5%
	計	収 入	24,601	25,839	1,238	105.0%
人キロ		925	967	41	104.5%	
在来線	定 期	収 入	15,143	15,157	14	100.1%
		人キロ	2,042	2,110	67	103.3%
	定期外	収 入	32,335	33,883	1,547	104.8%
		人キロ	1,625	1,693	67	104.2%
	計	収 入	47,478	49,040	1,561	103.3%
人キロ		3,668	3,804	135	103.7%	
新在計	定 期	収 入	16,461	16,507	46	100.3%
		人キロ	2,139	2,211	72	103.4%
	定期外	収 入	55,618	58,372	2,753	105.0%
		人キロ	2,455	2,560	105	104.3%
	計	収 入	72,080	74,880	2,800	103.9%
人キロ		4,594	4,771	177	103.9%	

(単位：千人)

輸送人員 (全 社)	定 期	106,492	110,748	4,255	104.0%
	定期外	55,944	58,673	2,728	104.9%
	計	162,437	169,421	6,984	104.3%
輸送人員 (新幹線再掲)	定 期	1,245	1,312	67	105.4%
	定期外	5,174	5,430	256	105.0%
	計	6,419	6,743	324	105.1%

記載金額につきましては、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。ただし、金額以外の数字につきましては、表示単位未満を四捨五入して表示しております。